

KTK ひゅうまん 京都

No. 519 2020年2月号

編集／京都障害児者の生活と権利を守る連絡会 〒603-8324 京都市北区北野紅梅町85 弥生マンション内
編集発行責任者／池添 素 電話&FAX(075)465-4310 購読料 1部80円 年間購読料1,000円(送料実費)

- P.1 左大文字 つどめ
- P.2 常任委員会から 池添 素
- P.3 「ぶつうのくらし」を求めて 大西里江
- P.4 車いす視点から社会を斬る 84 矢吹文敏
- P.5 聴覚障害者は訴える 篠田 あゆみ
- P.6 CANVAS V.1 4 和田 浩
- P.7 2+2=詩 赤富士文兼
- P.8 つれづれあらぐさ 中山 恵美子
- P.9 背中を伸ばしてひとと一緒に歩む 60 すぎな
- P.10 視覚障害者のサークルめぐり 98 一谷 孝
- P.11 知っ得情報 松本 美津男
- P.12 ありがとうございます・催し案内

左大文字 日本でも公開中の韓国映画『パラサイトー半地下の家族』が、米アカデミー賞の作品賞・脚本賞等4冠を獲得したことが大きなニュースとなっている。昨年のカンヌ映画祭で最高賞パルムドールを受賞し、近国では昨年の公開以来1千万人を動員しているという▲家族を扱う映画の健闘が続いている。先月の本欄で紹介した山田洋次監督の『お帰り寅さん』も家族を描いたものだが、一昨年は、日本映画としては21年ぶりにカンヌ映画パルムドールに輝いた是枝裕和監督の『万引き家族』が話題を集め、多くの人の足を劇場に運んだ。昨年には母と娘の葛藤を描いた同監督の「真実」も公開された▲『麦の穂をゆらす風』『わたしは、ダニエル・ブレイク』と2度にわたり、カンヌ国際映画祭のパルムドールを受賞した、英国の巨匠ケン・ローチの『家族を想うとき』も昨年末に公開され、今も全国の劇場で上映中だ。「私はダニエル・ブレイク。犬ではない。人間だ」と緊縮福祉政策がもたらす過酷な実態を告発した前作同様、今作でも家族を壊し非人間化する労働環境に満身の怒りをぶつける▲世の東西を問わず暴走する新自由主義経済。押し潰される労働者家族の暮らし。天地ほどに広がる格差。この社会すべての矛盾が雪崩を打って襲い掛かってくる家族の悲劇。だが、これらの映画の主題はその先にある。目を背けずに、その先に我らの希望を灯そうではないか。長いエンドロールはそう訴えていた。

つどめ



「ねこ2」
渡辺あふる

常任委員会から

〈近畿をつなぐ〉

2月9日に滋賀県南草津で

「障全協近畿ブロック地域運動交流集会」が開催されました。

毎年近畿ブロックの各県を回って開催し、各地から約50名の参加者が集まりました。開会にあたり、1月1日に逝去された障全協会長中内福成さんを偲ぶ黙とうから始まりました。今日ここにおられるはずの中内さん、姿が見えない不思議に今更ながら存在の大きさを実感します。記念講演で、盲学校の岸博実先生の「障害児はどのように戦争を体験し、組み込まれていったか、そして」と題してのお話を聞きました。午後からは各地での活動交流と障全協事務局長の白沢仁さんからの情勢と課題についてのお話で皆さんの心を一

つにしました。

〈残念！〉

2月2日投票だった京都市長

選挙は、立候補してくださった福山和人さんを市役所の中に福は内とはいかず残念な結果となりました。しかし、「つなぐ京都2020」を中心とした市民が動いた選挙。そして共産党やれいわ新選組などの政党の応援も多彩でした。全国的にも注目され、国政に大きな影響を与えるといわれていました。これからこの国を変える原動力を作る

ことができた選挙だったのではないかと思います。お疲れ様でした。

〈コロナウイルス〉

それにしてもすごい感染力。

収束がいつになるかの見通しもつかず、世界中を不安に陥れているウイルス。その結果、京都の町の観光客は激減、観光地はどこもガラガラ、雨後の筍のように建設されたホテルはどうなっているのだろうか？この機にひと儲けと作った民泊はどうなっているのだろうか、飲食店も土産物屋も観光客を見込んでの商売は本当たいへんなことになっていると。京都の経済にも大打撃を与えているコロナウイルス対策、さてどうするのか、どうなるのか？ほとんど報道されないが、アメリカではインフルエンザの死亡者1万人を超えているそうだ。これもどうなるのか。

〈松本俊彦先生を迎えて〉

有名人が薬物所持で逮捕されるとテレビが大騒ぎし、コメント

トを求められるのが、松本先生。

松本先生の著書『薬物依存症』

は、これまでの認識をひっくり返す回復プログラムで、理解が広がるために力を尽くしている先生。4月5日(日)13時から16時30分、JR二条駅南側の立命館大学朱雀キャンパスで松本先生の講演会を開催します。テーマは「もしも死にたいといわれたら」申し込み不要、参加費無料です。

〈映画『プリズンサークル』〉

坂上香監督が、島根あさひ社会復帰促進センターでのTC(回復共同体)での受刑者の実践を長期にわたり取材撮影したドキュメンタリー映画です。犯罪の背景に幼少期からの辛くて傷ついた経験があり、心の内をさらけ出すプログラムに参加することで、自らを再生していくプロセスは圧巻です。しかし、このプログラムに参加できるのはわずか40名だけ、もっと充実されることを望みます。

池添素(京障連事務局長)



「ふつうの暮らし」を求めて ②

大西 里江

「介護はたいへんでしょ」と言われますが、介護がたいへんと思ったことがあります。私はただ、家族と共に過ごしているだけで、今の私にとってはたいへんなことではないのです。むしろ「ふつう」に生活しているつもりです。介護は、家事と同様にごくごく当たり前にやっているのです。

☆

「たいへんですね」という言葉は、いたわってくださっていると分かっています。でも、赤ちゃんのおられる方に、低いトーンで「たいへんですね」とお話しされることとはないと思います。赤ちゃんは楽しくて、大人は辛いのでしょうか。

介護を必要とする大人がいる家族がたいへんなら、介護する家族がいない家族はたいへんではないでしょうか？それは違います。私は介護しているという意識はありません。ただ自分にできることを毎日やっているだけです。私は、自分にできることがあって、それを喜んでくれる人がいることが、私には嬉しいことなのです。

「たいへんですね」と言われたときの違和感は、私にはたいへんという認識が全くなく、逆に日々が楽しいからです。「たいへ



ん」と言われる意図を考えると、障害や病気で介護が必要な人がたいへんなら、障害者はたいへんということになるのでしょうか。たった一言ですが、社会的に「たいへん」と発するには意味があると思うのです。一つの基準、その人の価値観で定義を決めて、その定義以外を「たいへん」ということになるのです。

「ふつう」という言葉も同じだと思うのです。「ふつうの生活」「ふつうに・・・」「ふつうなら・・・」等等とたくさん使っている「ふつう」

「ふつう」の定義って何でしょうか？そもそも「ふつう」って何でしょうか？「ふつう」という言葉の意味を調べてみました。「ふつう」という漢字は「普通」と書きます。「普通学級」「普通列車」「普通の人」などがあります。

☆

漢字の「普通」の意味は、いつ、どこにいてもある様、ごくありふれたこと、ありふれたもの、特に変わっていないこと。そして、「当たり前のこと」とありました。

普通＝当たり前前、普通のくらしは当たり前前のくらしとなります

車いす視点から社会を斬る！

矢吹 文敏（日本自立生活センター）

「恐怖の連鎖」

新年早々、全く予想もしてい

なかつたコロナウイルスによる
感染で肺炎を発症するという病
気が日本にも上陸した。ニュー
スは、日にちを追うどころか時
間を追うごとに増加している。

☆

私などは、それでなくとも風
邪やインフルエンザの恐怖を抱
えながらの毎日の中で、今にも
日本に上陸し、それが京都に蔓
延し、私の周辺を襲ってくるの
ではないかという不気味な気持
ちになる。

また、連日のニュースで伝え
られている中で、私などが今さ
らここで繰り返すことではない
が、中国経済どころか日本、フ
ランスなどの観光産業の落ち込
みを中心に鉱工業の指標までも

が大きく揺らいでいる。

ただ、私が大いに気になるの
は、大型クルーズ船の乗客への
扱い方や中国の病院システムに
よる患者に対する扱い方が、い
かに非常時とは言え、極めて権
力的・非人道的・差別的なもの
であることだ。

患者と直接に接する医者や看
護婦の姿勢もさることながら、
マスクをせずに出入りしたら、
死刑も有り得るといような強
硬手段まで口にするということだ。
私自身が直接に接したわけで
もないのだが、すぐに思い浮か
ぶんだのが、ハンセン病患者のこ

とだ。感染力が弱く、潜伏期間
が五年とも言われ、痛みもかゆ
みも無い病気とも言われなが
ら、だからこそ得体の知れない
病気への無知による恐怖。この

恐怖心は、昨日まで大事な人間
関係であった人に対してさえ
も、菌の陽性反応が出たら最後、
まるで悪魔の存在となる力を持
つてしまう。

いわゆる感染症を罹患した人
間に対し、まるで犯罪人のよう
に集団から排除し、隔離し、そ
の後の人権扱いが保証されてい
るといふ明快なニュースは伝わ
ってこない。

☆

わが国の人権思想は、よもや
中国よりは進んでいるだろうと
信じているのだが、何故か明確
にそれを証明するものがない。
もしも私がああクルーズ船に
乗船していたらどんな気持ちに
なっていたらどうか。部屋に閉
じ込められたまま横浜港を出た
り入ったり、自分が感染症なの

か通常の病気なのか、高齢によ
る避けられない病気なのか。そ
れとも船酔いなのか。寝不足な
のか、軽い風邪なのか。横浜港
を目の前にして何故下船できな

いのか。酸素ボンベの供給はど
うなっているのか。ほとんど知
らされてはいない。

私は今、伏見区の向島ニュー
タウン二ノ丸学区自主防災会の
会長という役を貫っている。地
域住民の先頭に立って、万が一
の災害から命を守り、避難所の
初動態勢を組まなければならな
い立場である。

☆

大きな地震や水害がいつ起こ
るかは全く予想も出来ない。そ
れなのに、車いすを使用してし
か動けない私が自主防災会の責
任者になるなどとは本来あり得
ないことを引き受けてしまった。
もしか本当にその災害がやつ

て来た時のことを考えれば、地
域住民の恐怖はもちろん、個別
人の恐怖でもある。その恐怖心
とどのように向き合うのか。自
分だけ助かることを考えるより
も大きな恐怖との戦いになるか
も知れない。

聴覚障害者は訴える

日本中にコロナウイルスが流行している。そのせいで、きこえない・きこえない私たちが「困った!」「困った!」の出来事が日常生活で起きている。それは、どの店員でもマスク装着をしていることである。

☆

コンビニ店員、駅員、役所職員、カフェ店員などサービス業にはマスクしていない人はほとんどみかけず、口がみえないだけではなく顔の表情がみえないため、何を言っているのかさっぱりわからず困惑する。全部、外してほしいと訴えているのではない。

例えば、行き慣れている買物先では、店員は「いらつしやいませ」「ポイントカードお持ちですか?」「カード払いは」1回払いでよろしいでしょうか」「〇〇円で

す」「お買い上げありがとうございます」とマニュアル手順で教訓されているのでマスク装着しても「はいはい」と応えると、引き止められることもなくスムーズに進んでいる。それは、運がよかった。

しかし、こんな失敗もあった。

服を買いに行ったときに、店員に買い上げ商品に指をさして何か言ってきた。「えっ?」わからなかったがうなずいてしまい、商品を包装してもらった。

帰宅して商品をあけてみたら、まさか!服のサイズがSだったと判明。あっ!店員は、私の身体をみてサイズを疑って聞いてきたのではないか・・・この忙しい時間を縫って、わざわざ地下鉄に乗って階段にあがって店まで足を運んだのに!時

間の無駄だ!とぶつぶつ言い訳を並べて家族に不満をぶつけた。

そしたら、私に「お母さん、それは、お母さんが悪い。適当にうんうんとうなずくからよ!」と家族から言われた。「まさか!」「こんなこと、ありえない!」「なんと!」の言葉は、私自身が適当に聞き流したりする悪い癖がついているが、店で買い物するとき、商品を選ぶワクワクとした楽しい気持ちを持ちたい!

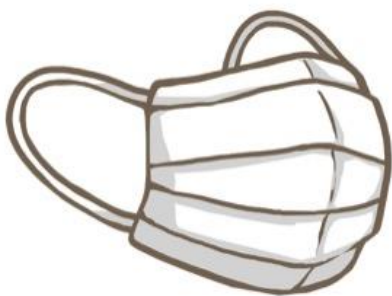
店員から声かけられると耳に手であおぐしぐさで「きこえない」と示さなければならぬことが面倒である。店員も健康で働き続けるために感染予防をしているので、わざわざ紙とペンをもってきて何か書いてくれるが、その待つ時間が惜しい。だから、声かけないでほしいことか!ではない。透明なマスクを開発してくれないかな!マスクに音声文字認識変換(話し手の声が文字に変換する機器)につかないかな!と

☆

労働者が健康的に働ける環境の整備、きこえない・きこえないお客様がゆつたりと買い物できるサービス提供の合理的配慮を。最後には、やはり、何よりも手話で話すことがお互いの気持ちがいいのと思う。

篠田 あゆみ

(京都府聴覚障害者協会理事)



CANVAS Vol. 4

弁護士・和田浩

ジョナさんの車椅子訴訟弁護団の和田浩です。

この連載は、ジョナさんの裁判について紹介する目的で開始されたと聞いておりますが、最近、すっかり執筆意欲が旺盛になった弁護団の皆さんが、当初の目的を逸脱・濫用する作品を立て続けに発表するのを目の当たりにし、目的に隷属してきた自己の姿勢を省みることを迫られました。

そこで、今回は裁判から少し離れて、ジョナさんと弟ノアさんが共同で主催するアート・イベントCANVASについてご紹介することにいたします。

☆

京阪の神宮丸太町駅と直結するクラブメトロで開催される

CANVASは、「圧倒的な非日常」を標榜し、さまざまな分野のアーティストがコラボして、その場に異世界を現出させるイベントです（よね、ジョナさん、ノアさん）。

2018年6月に開催された第1回目のCANVASでは、DJノアさんの音楽や、煌びやかな照明が空間を飾る中、ジョナさんが大きなキャンバスと向き合い、時間をかけてペインティングを行いました。ジョナさんの隣でクールにライブ・ペインティングをされていたのは、『神童』などの作品で知られる京都精華大学マンガ学科のさそ

うあきら教授でした。このとき、私は観客として参加しました

が、そこに出現した異世界に、



思わず舌を巻いたことを覚えています。

ちなみに、このとき観客として参加し、誰よりもハッスルしてしまつた弁護団の浅井亮弁護士（当時40歳）が、後日、「立

っているだけでもしんどい年齢になってきた」と呟いたことは関係者の間で広く知られておりますが、これはまさに、浅井弁護士が「圧倒的な非日常」に打ち

ちのめされたことを表現されて

いると思われる点で、「圧倒的な名言」と評価されるべきでしょう。

☆

さて、このイベント、3月19日に第4回目が開催されることが決まっています。今回のテーマは「身体賛美」とのこと。それぞれの身体が輪郭を持ちながらも、他者の身体や、時間や、空間と混じり合う、そんなイベントになるのかもしれません。

ところで、冒頭ご紹介しましたとおり、私はジョナさんの車椅子訴訟弁護団の一員ではありませんが、実は、ダンサーとしての活動もしております。今回のCANVASでは、観客としてではなく、出演者として参加させていただくことになっていきます。

描く身体、スクラッチする身体、座る身体、踊る身体、観る身体、弁護する身体、立っているだけでしんどい身体……、身体もいろいろ。3月19日の夜は、ぜひクラブメトロへ！

2+2=詩

「冬の虫」

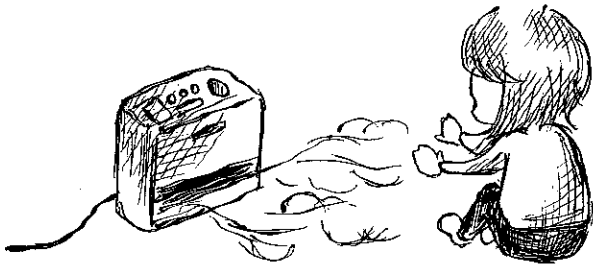
窓からそつと外を見る
曇った空と冷たい風
命はあらかた眠りについて
虫の一匹も見えやしない



視線を家の中に向けてみる
人型をした大きな虫が
暖かいところに陣取っている

炬燵の中にはコタツムリ
あったか炬燵にこもりきり
母によく似た顔だけ出して
幸せそうにまどろんでいる

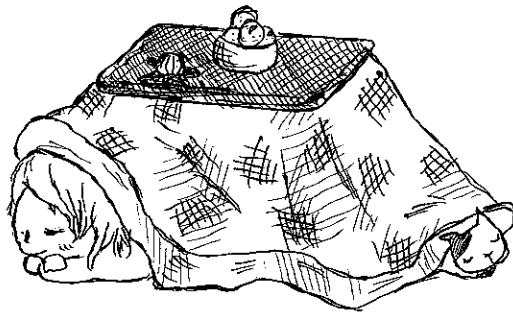
妹みたいな顔してる
ヒーターの前のオンブウモライ
温風吐き出すヒーターの前で
あったか空気を独り占め



かくいう自分も冬の虫
布団を巢にするフトンムシ
できれば春まで眠っていたいと
あったか布団に潜り込む

「みかん」

みかん。みかん。
山積みのみかん
一番上のは甘いかな
こちらの小さいのは酸っぱいかな
どんなに見ても、触ってみても
みんな揃って真ん丸で、
みんなおんなじオレンジ色で
違いなんて分からない
良し悪しなんて分からない
口にして初めて分かる
丸い小さい運試し



作・赤富士文兼 挿絵・水口萌恵

つれづれあらぐさ

あらぐさ福祉会は長岡京市にある社会福祉法人で、障害のある人たちの暮らしを支える事業を行っています。1986年に無認可の共同作業所を開所して以降、日中の通所から生活の場、ヘルパー事業所等、地域で暮らし続けるために必要なものを作り出してきました。今回の連載開始にあたり、「障害者の喜びと悲しみ、家族の喜びと苦悩、職員の働き甲斐と先が見えない苦悩…そういうことが浮き彫りになればと思います」とお話をいただきました。日々自分が経験していることや感じていることを通して、それぞれの一場面を綴れたらと思います。なお、内容については個人情報に配慮して構成しています。

場面② あらぐさ15年目、セルフプロデュースで祝う

あらぐさの入り口にある桜の木。約14年前、無認可から法人化をして今の場所に移ってきた時に、当時のメンバーさん達が植樹したものです。毎年4月になると、満開の桜の前で記念撮影をする人がいます。

法人化する直前から作業所に通い始めた彼女は、昨年あらぐさ15年目を迎えました。「何年生なったかな？」「中山さん、何年生？」「次は〇年生やなあ」と、一年一年の積み重ねをいつも確かめています。最初の頃は「学校ちやうしなあ、〇年生とかないで」と返していました。彼女なりに「大きくなる自分」を感じて表現しているのかなあと思うようになりました。

4年前、あらぐさが創立30年を迎

えた時のことです。創立当初から通っている一期の人が、職員からのメッセージが掲載された黄色い表紙の記念冊子を受け取りました。それを目にした彼女は、羨ましくてたまらない様子。「黄色のええな〜」「あと、何年かな〜」「誰が書いてくれるん？」等々、毎日質問攻めです。「まだまだ先やで」「中山、いるかわからんし」「いる職員さんが書いてくれるって」と伝えると、「いつ？」「なんですか？」「誰？」と返ってきます。そんなに楽しみにしているのなら、30年生の半分を自分でお祝いしたらと提案すると「する〜！〜」と即答でした。

それからの彼女は、いつも以上に積極的でした。メッセージを書いてもらいたい人のリストアップ、パソコンで作ったお願い文作りの配布、「書いてくれた？」と何度も声をかけて催促。通所、ホーム、外出支援の事業所、家族、異動した元職員や事務室で顔を合わす職員等、全部で61人のメッセージを集めました。他

事業所の支援者にはなかなか会え

ず、「いつくれんのかな〜」と待ちくたびれた様子も見られましたが、「忙しいかな〜」「待つとく」と気持ちをなやましてメッセージを集められました。彼女の姿を見て、思い出したこと

があります。無認可の頃は、通所5年・10年・15年のお祝いをあらぐさですっていました。ご本人の頑張りはもちろん、ご家族の支えもあつてのことなので、通所15年はご本人・ご家族一緒の記念写真を贈っていました。あらぐさに通い続けた日々の重み、節目を祝うという形で大切にしていたのだと思います。

集めたメッセージは、一緒に読みながら色紙に貼って仕上げました。表紙は、イラストの得意な職員に「かわいく書いてや〜」と頼んで似顔絵を書いてもらいました。「絵うまいな〜」「考えて描いたん？」と出来上がりに大満足。完成した記念色紙を手に大喜びの彼女の姿から、改めて一緒に歩んできた15年間を思い返しました。

中山 恵美子（あらぐさ福祉会）

背中を伸ばばつひつひつと一緒に歩む

すぎな（訪問看護師）

60 リセットボタン

ゲーム機を使って遊んでいた子どもが、「あ、やられちゃった。もう一回。」とボタンを押す。P Cで何やら入力していた会社員が、「あ、固まった。しゃーないな。」とボタンを押す。時計の設定が気に入らなくなったから、おもちゃの設定を変えたいから、とボタンを押す。失敗しちやった時、何かを変えたいときに、白紙に戻して、もう一度やり直す時の、便利なボタンが最近の機械にはあるようだ。私たちは、身の回りにこういった便利なものがあふれている世界で、生活するようになった。

☆

「あのね。お姉ちゃんが、妹が欲しいって言うの。」いつものように訪問に行つて、ケアをし

ていたら、突然お母さんが言わ

れたので、「あら、お姉ちゃんは、次も妹がいいのね。」と返した。お母さんは首を振った。「違うの。Sじゃなくて、お話しできて、一緒に遊べて、お買い物にも連れていける子がいいって。」そして、「この子は違うから、返してきてって。」

Sちゃんは、先天性の病気で、3歳になった今もお話しするどころか、声も出すことがない。食事はチューブからしか食べられず、お姉ちゃんと一緒におやつを食べたり、取り合いっこしたりすることはない。寝返りもお座りもできないし、首も座っていないから、ほとんど1日中

すくて、ちよつとした風邪でもすぐに肺炎になってしまい入院するので、簡単に外に連れていけない。Sちゃんが生まれてから、家族が一緒にお出かけしたのは、ほんの数えるほど。お姉ちゃんは、お友達が兄弟のことを話しているとき、何も言えなかった。

お姉ちゃんだって、頑張っていた。絵本を読んで、大事なおもちゃを貸してあげた。Sちゃんもしよつちゅう入院しているから、その間お母さんはずっと付き添っている。お姉ちゃんも寂しくても我慢した。時々は、食べない妹の分もおやつを横取

りすることもあったけれど、妹を置いてお買い物に連れていってもらったら、やつぱり「Sの分も何か買って」とおねだりするのを忘れなかった。

☆

ゲームの中のように、リセットできない現実を、私たちは生きていく。思い通りじゃないからと言って、一旦起きたことをなかったことにはできない。やり直すことはできても、過ぎてしまった時間は巻き戻せないし、違う設定に取り換えることもできない。生まれてきた命を、なかったことにはできない。だけど、起きたことにしっかり向き合つて、そこから絆を作りなおすことはできる。次に向かつて、皆で考えて、ささえあつて、そして変化しあつて。

生き方、考え方、家族のあり方、何度でもやり直すことはできるのだから。



視覚障害者の

サークルめぐり(98)

クラブ員の思い

英会話サロンは、毎月第1土曜日午前、京都ライトハウス研修室で活動しています。

今回の執筆者は、島根県出身、先天性弱視のため島根県立盲学校高等部普通科まで在学。福祉施設職員を目指し短大に入学しましたが、2年生前期の終わりに網膜剥離でほとんど視力を失いました。在学継続が難しいと中退も考えましたが、島根ライトハウスの高尾正徳園長から「やりたいことは途中で辞めるな」と叱咤激励を受け短大を卒業しました。日本ライトハウスで電話交換手の資格を取得して就職し、その後パソコンのスキルが必要になり、京都ライトハウスで指導を受けました。

英会話を楽しもう

(中島 弥生)

京都ライトハウスでパソコンの指導を受けることになった時、船岡老人クラブに英会話クラブがあることを知りました。電話交換手をしていて、英会話を学びたい気持ちがあったので参加しました。その後、2006年から京都ライトハウスまつりのステージにも参加するようになり、個性的なキャラクターをもった人たちと活動を続けています。

初めてクラブに参加した時、皆さんは流暢な英語で自己紹介をされ、私はそれだけで緊張しましたが、英語では名前と出身地プラスαだけ。近況報告は日本語でしたので安心しました。英会話クラブ(現在は英会話サロン)は、1998年に京都ライトハウス職員で視覚障害者の佐々木あとみさんが始められ、指導をしておられました。いつもニューフェイスに対して「英会話クラブは英語、日本語、大阪弁と何でもありで会話を楽しむクラブです」と緊張を和らげてくださいました。多数の人が会話をするとおしゃべりな人が中心になりがちですが、ここでは全員が主人公です。多彩な趣味や日常生活の話題に笑いが絶えません。

佐々木さんは関東へ転居され、後任として数人の外国人の先生に指導していただきました。簡単な英語劇や英語の歌などにもチャレンジし、毎年ステージ発表をするようになりました。メンバー全員が意見を出し合い、つながり、目標に向かって練習を積み重ねていきます。

この数年、リーダーから「歌ばかりでは英会話とはいえない」、会員からは「歌を覚えるのは辛い」といった声を聞くようになりました。たまたま英語番組で、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」が英訳され、たので、なんとかアレンジできるかも知れないと、テキストを入手し、メンバーの賛同も得て、詩の朗読にトライすることになりました。宮沢賢治の詩の英訳を先生と英語の得意なメンバーが作成し、手直しを繰り返しました。メンバー全員が揃って練習することはできません。年齢、性別、国籍も様々で個性的なメンバーのパフォーマンスでした。全員が個性をステージにつけました。ベストを尽くしました。これまでの中で一番楽しく感動的なステージでした。今回ほど英語を勉強したことはありません。この様な機会に巡り会えたこと、一緒に歩んでくださるメンバーに感謝しています。コミュニケーションを楽しみながら、このサロンの大きな魅力です。

この数年、リーダーから「歌ばかりでは英会話とはいえない」、会員からは「歌を覚えるのは辛い」といった声を聞くようになりました。たまたま英語番組で、宮沢賢治の「雨ニモマケズ」が英訳され、たので、なんとかアレンジできるかも知れないと、テキストを入手し、メンバーの賛同も得て、詩の朗読にトライすることになりました。宮沢賢治の詩の英訳を先生と英語の得意なメンバーが作成し、手直しを繰り返しました。メンバー全員が揃って練習することはできません。年齢、性別、国籍も様々で個性的なメンバーのパフォーマンスでした。全員が個性をステージにつけました。ベストを尽くしました。これまでの中で一番楽しく感動的なステージでした。今回ほど英語を勉強したことはありません。この様な機会に巡り会えたこと、一緒に歩んでくださるメンバーに感謝しています。コミュニケーションを楽しみながら、このサロンの大きな魅力です。

知っ得情報

手帳なくても障害者控除

松本 美津男

税の申告で障害者控除は障害者手帳を持っていない人でも、認められるケースがあります。

65才以上の人で、障害者控除の対象者であることの認定書を、市町村長（福祉事務所長）からもらえれば、障害者控除が認められます。

また、年齢に関係なく、「その年の12月31日において引き続き6か月以上にわたって身体の障害により寝たきりの状態で、複雑な介護を必要とする人」や「精神上的の障害により事理を弁識する能力を欠く常況にある人」は特別障害者控除を認められます。この場合、決まった様式はありませんので利用している福祉施策や年金、手当に関する書類等を見せるのも一つの方法でしょう。

手帳無しで障害者控除を受けるには、少し時間と手間がかかりますが、所得税と住民税の軽減になりますから、該当しそうな人は、ぜひ申告されるようおすすめします。

〈問い合わせ先〉

最寄りの税務署



あなたもぜひ 仲間に

サロン・サークル・地域活動展開中
生活支援スタッフ(資格不要)募集中
介護職員(資格要)募集中

ひとりぼっちの高齢者をなくそう
元気な高齢者はもっと元気に

「よろず相談」承ります(随時)



あなたも支える存在に
京都市北区紫野東野町1-5
電話075-432-3636

命の平等をかけた、 無差別平等の医療と 福祉の実現をめざす

働くひとびとの医療機関です

看護師・薬剤師・医師や医療技術者を

目指す方をご紹介ください



京都民主医療機関連合会

〒615-0004 京都市右京区西院下花田町21-3 春日ビル4階

TEL 075-314-5011(代) FAX 075-314-5017

Home Page <http://www.kyoto-min-iren.org>

e-mail: info@kyoto-min-iren.org

ありがとうございます

■年会費

久保村利恵子・高城佳代子

■分担金

森永ひ素ミルク中毒の被害者を守る会京都府本部・京都市教職員組合

(敬称略 2020/2/5)

■第46回耳の日記念集会

日時：3月1日(日) 11:00～

場所：ガレリアかめおか 内容：バザー、式典、アトラクションなど 参加協力券：1000円 問合せ：実行委員会(432-7705)

■バイバイ原発きょうとプレ企画

日時：2月29日(土) 14:00～ 場所：こころホール(池坊短期大学) 内容：対談講演・雨宮処凛さん 問合せ：保険医協会(212-8877)

■子どもを笑顔にする療育

日時：3月8日(日) 13:15～17:00 場所：京都アスニー3階 内容：講演：「子どもを笑顔にする療育」池添素さん(NPO法人福祉広場理事長)、報告など 参加費：1000円(学生・障害者500円) 問合せ：全障研京都支部(makotu1217@yahoo.co.jp)

■2020年バイバイ原発3.7きょうと

日時：3月7日(土) 13:30～ 会場：円山公園音楽堂 内容：講演：「福島原発事故の責任は東京電力旧経営陣にある」武藤類子さん(訴訟団団長)、デモ(15:00出発) 問合せ：255-2503(実行委)

■驚異のクリエイションパワー

特別出品：高知・竹林寺の襖絵 日時：～2020年3月29日(日) 場所：京都府立堂本印象美術館 内容：印象は、1950年代半ばからは日本画家による抽象画という今までに見られなかった前衛的な表現を国内外で次々と発表し、画壇に鮮やかな足

跡を残した。本展では、63年に描かれた高知・竹林寺の襖絵を約14年ぶりに特別公開。完全な抽象表現で彩られた豪快な襖絵は、日本の障壁画史においても画期的な作品だ。入館料：510円 問合せ：京都府立堂本印象美術館(463-0007)

■講演会・子どもとおとなの生きづらさに向きあい、いつからでもやりなおせる社会に

日時：4月5日(日) 13:30～16:30

場所：立命館大学朱雀キャンパスホール 内容：講演「もしも「死にたい」と言われたら」松本俊彦さん(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所) 問合せ：立命館大学人間科学研究所、かもがわ出版、福祉広場(465-4130)

■井上ひさし没後10年 講演と映画でのぞく「ひさしワールド」

日時：2020年4月12日(日) 13:30～17:30(開場：12:30)。途中15分の休憩あり。場所：響都ホール(京都駅八条口南)。参加自由・無料。

内容：4月9日は、作家・井上ひさしの没後10年にあたります。これをきっかけに、「ひさしワールド」をのぞこうと考えて、集会を企画しました。井上ひさしの仕事を振り返り、「ひさしワールド」をのぞきませんか。講演：「小森陽一さん(東京大学名誉教授、9条の会事務局長) *演題「井上ひさしと憲法九条―没後十年にあたって―」(90分。井上ひさしと小森陽一さんは、『座談会 昭和文学史 全6巻』(集英社)を共編しました)。映画：『父と暮せば』(井上ひさし/原作、監督/黒木和雄、出演/宮沢りえ、原田芳雄、2004年、99分) 問合せ：実行委員会(代表：細川孝<龍谷大学教授>、465-5451)